

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：ステアリン酸亜鉛（国産1級）

製品番号(SDS NO)：D006570-1

供給者情報詳細

供給者：国産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署：品質保証部

電話番号：045-328-1715

FAX：045-328-1716

e-mail address：cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先：国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

GHS分類区分に該当せず

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

化学物質

化学的特定名：ステアリン酸亜鉛(II)

慣用名、別名：ステアリン酸亜鉛

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	化学式
ステアリン酸亜鉛	(Znとして) 9.8≤	557-05-1	2-615	C ₃₆ H ₇₀ O ₄ Zn

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ステアリン酸亜鉛

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ステアリン酸亜鉛

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

吸入：咳

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤**

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

空気中で粒子が細かく拡散して爆発性の混合気体を生じる。

消火を行う者への勧告**特有の消火方法**

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

下水、排水中に流してはならない。

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるため湿らせてから掃き入れる。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

（火災・爆発の防止）

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
粉じんの堆積を防止する。

安全取扱注意事項

指定された個人用保護具を使用すること。
取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

配合禁忌等、安全な保管条件**適切な保管条件**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置**管理指標**

管理濃度データなし

許容濃度

ACGIH(1985) TWA: 10mg/m³ (上気道, 眼および皮膚刺激)

ばく露防止**設備対策**

排気/換気設備を設ける。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具**呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理的及び化学的性質に関する情報****物理的状态**

形状：細かく柔らかい粉末

色：白色

臭い：僅かに脂肪酸臭

pH：知見なし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：知見なし

融点/凝固点：130℃

燃焼性(固体、ガス)：可燃性

引火点：(ステアリン酸亜鉛)(O.C.) 277℃

自然発火温度：420℃

爆発特性：引火又は爆発範囲

下限：20 g/m³

比重/密度：1.1

溶解度

水に対する溶解度：溶けない

溶媒に対する溶解度：石油、ベンゼン、トルエンに微溶。

n-オクタノール／水分配係数：log Pow1.2

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

強酸や強アルカリで加水分解される。

危険有害反応可能性

加熱すると分解し刺激性的な煙を生じる。

強酸化剤と反応する。

避けるべき条件

熱、混触危険物質との接触。

混触危険物質

強酸、強塩基、強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、亜鉛酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

〔日本公表根拠データ〕

ラットのLD50値として、> 5,000 mg/kg との報告（EU-RAR（2009））に基づき、区分外とした。

急性毒性（経皮）

〔日本公表根拠データ〕

ウサギのLD50値として、> 2,000 mg/kg との報告（EU-RAR（2009））に基づき、区分外とした。新たな情報源（EU-RAR（2009））を追加して、区分を見直した。

急性毒性（吸入）

〔日本公表根拠データ〕

ラットのLC50値（1時間）として、> 200,000 mg/m³（4時間換算値：> 50 mg/L）との報告（EU-RAR（2009）、ACGIH（7th, 2001））に基づき、区分外とした。なお、LC50値が飽和蒸気圧濃度（ 9.2×10^{-14} mg/L）より高いため、ミストの基準値を適用した。

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

〔日本公表根拠データ〕

ウサギを用いた皮膚刺激性試験2件において、刺激性はみられなかったとの報告（EU-RAR（2009）、IUCLID（2000））や、ラットを用いた試験（4時間適用）において、刺激性がみられなかったとの報告がある（EU-RAR（2009））。ヒトにおいては、パッチテストにおいて刺激性はみられなかったとの報告がある（EU-RAR（2009））。ヒトと動物で刺激性はないとの報告があることから、区分外とした。旧分類にある情報は具体的なデータではないため削除し区分を見直した。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

〔日本公表根拠データ〕

本物質の原液をウサギに適用した結果、刺激性はみられなかったとの報告が2件ある（EU-RAR（2009）、IUCLID（2000））ことから区分外とした。情報源を追加し、旧分類にある情報は具体的なデータではないため削除し区分を見直した。

局所効果データなし

感作性

皮膚感作性

〔日本公表根拠データ〕

データ不足のため分類できない。なお、ボランティア202人に対して本物質を10%含む物質を適用した結果、感作性がみられなかったとの記載（EU-RAR（2009））や、ヒトに皮膚感作性がないとの記載（IUCLID（2000））がある。

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

〔日本公表根拠データ〕

ACGIHでA4に分類されている（ACGIH（7th, 2001））ため、分類できないとした。

ACGIH-A4(1985)：ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

〔会社固有データ〕

データ不足のため分類できない。なお、旧分類の「ヒトで気道刺激性の可能性が記載されている（ACGIH（7th, 2001）、EU-RAR（2004））」については、確認の結果、ACGIH（7th, 2001）で、Stearates（ステアリン酸塩）全体として、ヒトで気道刺激性の可能性が記載されているが、本物質についてはEU-RAR（2009）で、「腐食性、刺激性がない」と記載されており、旧分類の知見は不採用とした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

〔会社固有データ〕

本物質反復ばく露による有害性に関する知見は、ヒト、実験動物のいずれもない。したがって、データ不足のため分類できない。なお、亜鉛を硫酸亜鉛又はグルコン酸亜鉛として摂取したヒトで、頭痛、吐き気、胃の不快感などの消化器症状及び銅欠乏を示す臨床検査異常（血清セルロプラズミン及び赤血球のSOD活性の減少）を生じたが、貧血など赤血球の機能に影響を及ぼすことはなかったとの記述がある（EU-RAR（2009））。

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性（急性）成分データ

〔日本公表根拠データ〕

甲殻類（オオミジンコ）の48h EC50 > 100 mg/L、魚類（ゼブラフィッシュ、ブルーギル）の急性毒性

試験において水溶解度あるいは水溶解度を3-4オーダー上回る設定濃度において影響が見られない（EU-RAR, 2008）ことから、区分外とした。

水生毒性（長期間）成分データ

〔日本公表根拠データ〕

信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急性毒性が区分外、難水溶性（水溶解度=0.97mg/L、EU-RAR, 2008）、急速分解性がない（OECD TG 301Dによる28日間の分解度試験による分解度：5%（EU-RAR, 2008））ものの、生物濃縮性が低いと推測される（log Kow = 1.2（EU-RAR, 2008））ことから、区分外とした。

水溶解度

溶けない（ICSC, 2000）

残留性・分解性

急速分解性がない（OECD TG 301Dによる28日間の分解度試験による分解度：5%（EU-RAR, 2008））

生体蓄積性

log Pow=1.2（ICSC, 2000）

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

名称表示危険/有害物(令18条)

ステアリン酸亜鉛

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

ステアリン酸亜鉛

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

大気汚染防止法

有害大気汚染物質(中環審第9次答申)

ステアリン酸亜鉛

水質汚濁防止法

指定物質

ステアリン酸亜鉛

法令番号 54

適用法規情報

下水道法: 水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)

水道法: 有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法): 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

輸出貿易管理令別表第1の16の項

輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該

製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。